



2016年3月期 第1四半期決算説明会 (2015年4月1日～2015年6月30日)

2015年8月7日



Global Logistics Partner

株式会社 近鉄エクスプレス

kintetsu world express

■2016年3月期第1四半期決算概要(連結) 及び2016年3月期通期業績見通しについて

02 APLL子会社化に伴う業績への影響について ①

03 APLL子会社化に伴う業績への影響について ②

04 連結:貸借対照表

05 2016年3月期 第1四半期の業績

06 営業収入・営業利益のセグメント別内訳

07 2016年3月期第1四半期 業績の主な要因

08 営業収入の事業別内訳

09 連結:2016年3月期業績見通し(予想)

10 2016年3月期営業収入・営業利益の
セグメント別内訳(予想)

■APLLとのシナジー創出に向けた取り組み

12 APLLの連結子会社化について ①

13 APLLの連結子会社化について ②

14 中期経営計画3ヵ年の業績数値目標(連結)

15 KWE・APLLの業績推移のイメージ

16 APLL Post Closing Project

17 APLL Post Closing Project

18 航空・海上物量の推移・目標

19 株式分割について

20 配当について ①

21 配当について ②

APL Logistics(APLL)子会社化に伴う 業績への影響について ①

● 2016年3月期 第1四半期決算への影響について

◆ 貸借対照表 (B/S)

- ・2015年6月30日をみなし取得日としており、6月末日現在の財務諸表を連結。

◆ 損益計算書 (P/L)

- ・APLLは12月決算であり、2015年1～3月決算は連結対象外。
- ・報告セグメントは、従来の「日本」、「米州」、「欧州・中近東・アフリカ」、「東アジア・オセアニア」、「東南アジア」に加え、「APLL」を新設。

◆ 株式取得関連費用

- ・総額3,153百万円のうち、816百万円は当第1四半期において営業費用に計上。

APL Logistics(APLL)子会社化に伴う 業績への影響について ②

● 2016年3月期の連結業績予想(損益)への影響について

◆ 第2四半期(累計)

- ・12月決算の連結子会社は1～6月の損益が連結されるが、APLLはみなし取得日6月30日の関係から、損益は連結対象外。

◆ 第3四半期(累計)

- ・APLLに関しては、3ヵ月分(7月～9月)の損益を連結。
- ・のれん償却は第3四半期より計上。

◆ 通期

- ・APLLに関しては、6ヵ月分(7月～12月)の損益を連結。

連結：貸借対照表

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期 第1四半期	増減額	備考
(資産の部)				
流動資産	131,006	182,256	51,250	APLLのB/S連結による(現預金および営業未収入金の増加)
固定資産	63,547	204,254	140,706	
有形固定資産	39,831	48,778	8,946	APLLのB/S連結による
無形固定資産	2,520	126,659	124,138	APLLの取得に係るのれんの計上による
投資その他の資産	21,194	28,816	7,622	APLLのB/S連結による
資産合計	194,553	386,511	191,957	
(負債の部)				
流動負債	53,772	237,533	183,761	APLLの取得に係る資金調達等による
固定負債	11,093	14,649	3,555	国内ロジスティクス機能強化への設備投資資金借入等による
負債合計	64,865	252,182	187,316	
(純資産の部)				
純資産合計	129,687	134,328	4,640	APLLのB/S連結による
負債純資産合計	194,553	386,511	191,957	

2016年3月期 第1四半期の業績

件数(千件) 重量(千トン) 容積(千TEU) 金額(百万円)

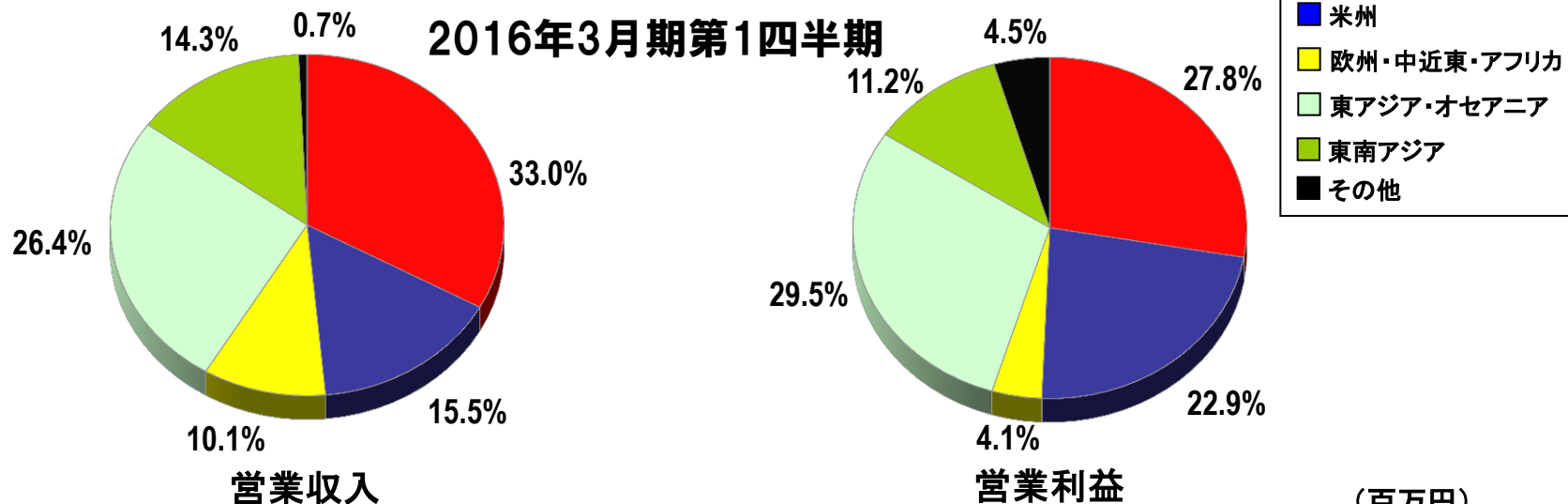
(ご参考)

項目	2015年3月期第1四半期実績		2016年3月期第1四半期実績		2016年3月期予想 (※2015/8/6 業績修正発表)	
		前1Q比増減率(%)		前1Q比増減率(%)		
航空輸出重量	112	10.3%	116	4.2	—	
航空輸入件数	282	4.5%	302	6.7	—	
海上輸出容積	95	15.2%	95	△0.9	—	
海上輸入件数	57	6.6%	57	1.0	—	
営業収入	連結	75,240	16.4%	82,752	10.0%	450,000
営業総利益	連結	12,065	12.8%	12,564	4.1%	—
営業利益	連結	3,193	17.8%	2,564	△19.7%	18,000
経常利益	連結	3,573	22.1%	2,846	△20.4%	17,500
税金等調整前 四半期純利益	連結	1,816	△32.4%	2,843	56.6%	—
親会社に帰属 する当期純利益 (旧: 当期純利益)	連結	659	△51.7%	1,374	108.5%	11,700

適用レート	2015年3月期 第1四半期	2015年3月期	2016年3月期 第1四半期
対USDドル	102.78円	105.85円	119.09円
対EURO	140.79円	140.42円	134.18円

営業収入・営業利益のセグメント別内訳

営業収入・営業利益のセグメント別構成比(APLLを除く)



地域別	営業収入	前1Q比増減率	営業利益	前1Q比増減率
日本	28,280	2.6%	938	△16.6%
米州	13,297	37.8%	774	53.4%
欧州・中近東・アフリカ	8,694	△5.1%	138	△18.9%
東アジア・オセアニア	22,677	4.6%	996	△8.2%
東南アジア	12,260	41.1%	379	191.9%
APLL	—	—	△816	—
その他	602	9.2%	154	△12.3%
調整額	△3,060	—	0	—
合計	82,752	10.0%	2,564	△19.7%

※上記「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでいます。

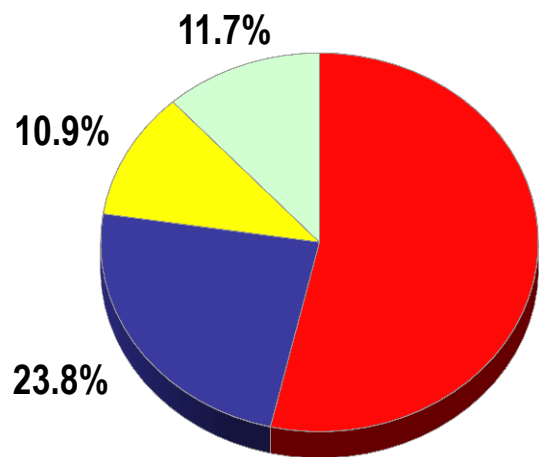
※APLLの当第1四半期の事業上の損益は連結対象外であるため、円グラフはAPLLセグメントを除いて作成しています。

2016年3月期第1四半期 業績の主な要因

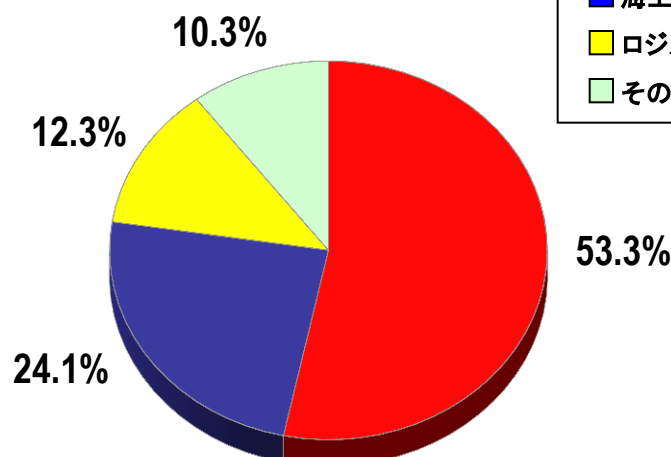
- 1 単体は、荷動き堅調も航空運賃原価の上昇等により予算未達。**
 - 単体の営業利益率は前年同期の2.3%から2.2%へ。
 - 国内関係会社は前年同期の反動（消費増税前の駆け込み需要、パソコン買替え需要）により苦戦。
- 2 海外全体では、概ね順調も欧州の回復が遅れる。**
 - 海外四極平均の営業利益率は、前年同期の3.8%から4.0%へ（除くAPLL業績）。
 - 米州は米国西岸の荷役遅延による緊急輸送の取扱いが拡大。
 - 欧州・中近東・アフリカは、ドイツの不振が続き、計画を下回る。
 - 東アジアは、物量減少および営業費用増加等により利益計画に届かず。
 - 東南アジアは、改善諸施策の成果や販売拡大により、前期後半からの回復基調が継続。

営業収入の事業別内訳

営業収入の事業別構成比



2015年3月期第1四半期



2016年3月期第1四半期

(百万円)

各事業		2015年3月期第1四半期 (実績)		2016年3月期第1四半期 (実績)	
		営業収入		営業収入	前1Q比増減率
貨物輸送事業	航空貨物輸送	40,294	44,071	9.4%	
	海上貨物輸送	17,913	19,928	11.2%	
	ロジスティクス	8,226	10,191	23.9%	
	その他	8,806	8,560	△2.8%	
合計		75,240	82,752	10.0%	

連結:2016年3月期業績見通し(予想)

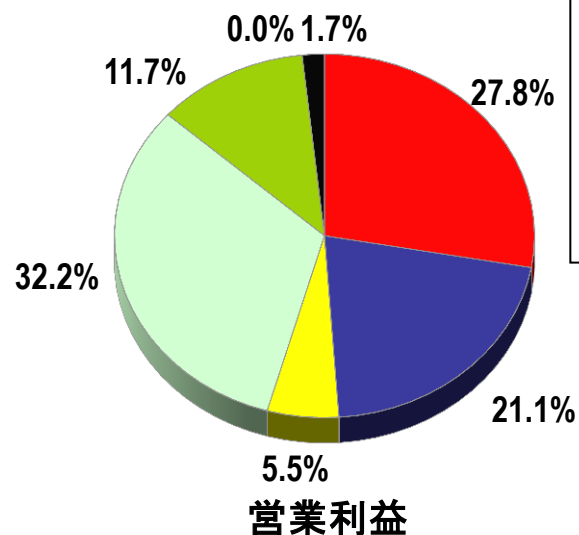
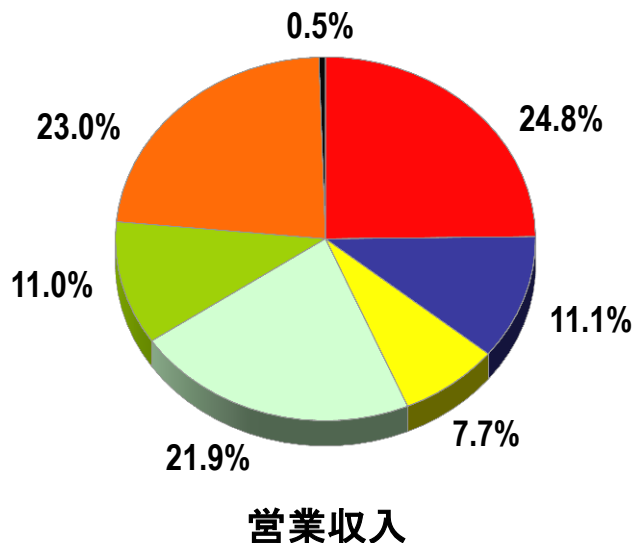
<2015年8月6日に修正を発表>

(百万円)

項目	2015年3月期(実績)		2016年3月期(予想)	
		前期比増減率 (%)		前期比増減率 (%)
営業収入	327,192	16.2	450,000	37.5
営業総利益	52,556	13.5	71,000	35.1
営業利益	16,563	20.5	18,000	8.7
経常利益	18,429	20.7	17,500	△5.0
税金等調整前 当期純利益	16,372	9.8	17,500	6.9
親会社に帰属する 当期純利益 (旧:当期純利益)	10,489	11.4	11,700	11.5

2016年3月期営業収入・営業利益の セグメント別内訳 (予想)

営業収入・営業利益のセグメント別構成比



- 日本
- 米州
- 欧州・中近東・アフリカ
- 東アジア・オセアニア
- 東南アジア
- APLL
- その他

地域別	営業収入	前期比増減率	営業利益	前期比増減率
日本	113,700	△7.5%	5,000	△21.3%
米州	51,200	19.0%	3,800	31.8%
欧州・中近東・アフリカ	35,400	△5.2%	1,000	35.9%
東アジア・オセアニア	100,400	12.3%	5,800	13.7%
東南アジア	50,600	22.1%	2,100	78.7%
APLL	105,800	—	0	—
その他	2,100	12.5%	300	△2.3%
調整額	△9,200	—	—	—
合計	450,000	37.5%	18,000	8.7%

※上記「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社グループ内部への物流付帯事業活動を含んでいます。

APLLとのシナジー創出に向けた取り組み

APLLの連結子会社化について ①

2015年5月29日 APLLの全株式の取得を完了



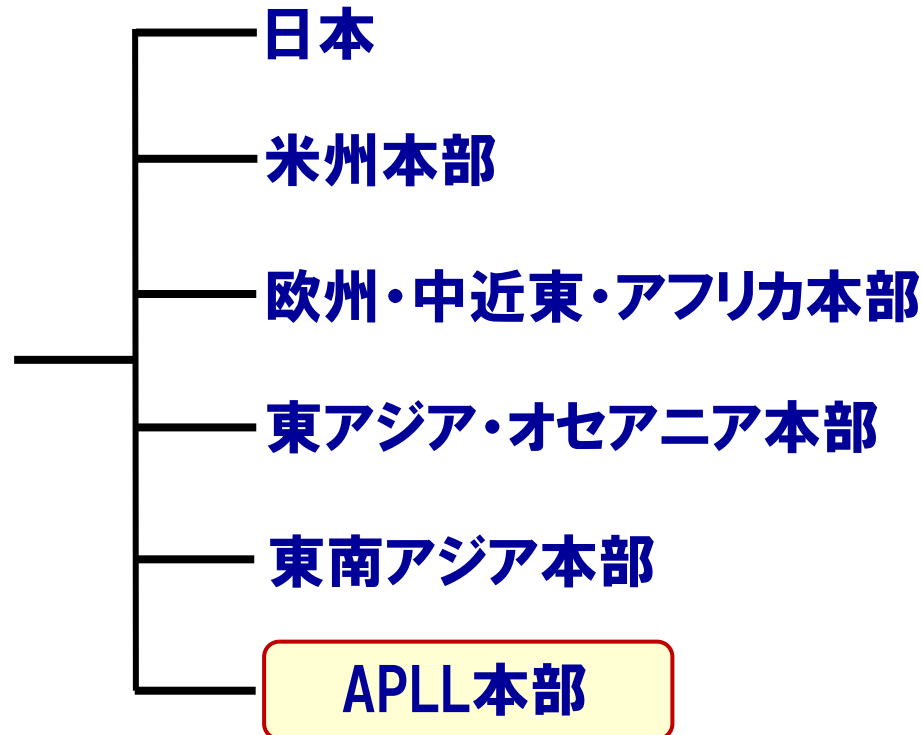
◆ **目的:** 世界の競合他社と対等に戦える経営基盤をスピード感を持って構築し、グローバルプレーヤーとしての地位を確立する。

◆ **目指すシナジー:**

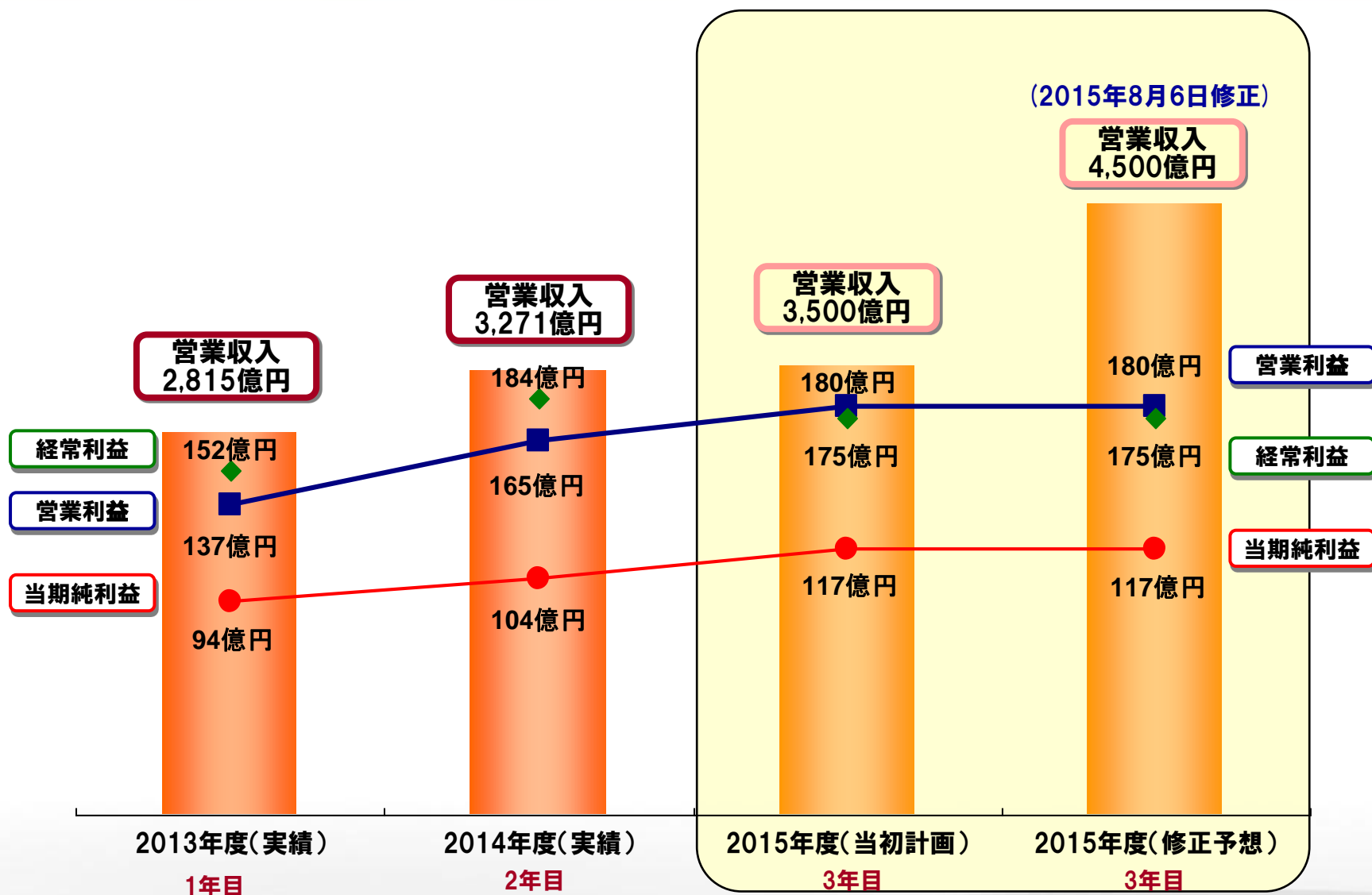
- ① 取扱品目の拡大、顧客層の多様化、事業領域の拡大・均等化
- ② 双方の顧客に双方のサービス（当社の航空・海上フォワーディングとAPLLの陸上・鉄道輸送を含む広範にわたるロジスティクス）を販売することで、既存・新規顧客のビジネスを拡大

APLLの連結子会社化について ②

従来の「日本」および「米州」、「欧州・中近東・アフリカ」、「東アジア・オセアニア」、「東南アジア」の各本部に加え、「APLL本部」を新設。



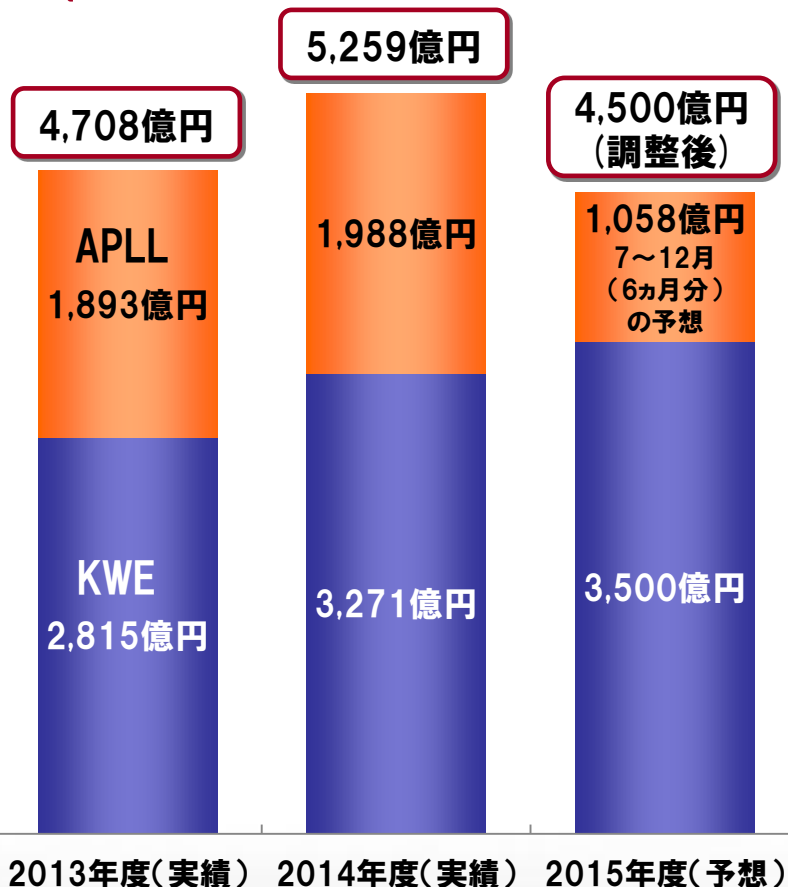
中期経営計画3カ年の業績数値目標(連結)



KWE・APLLの業績推移のイメージ

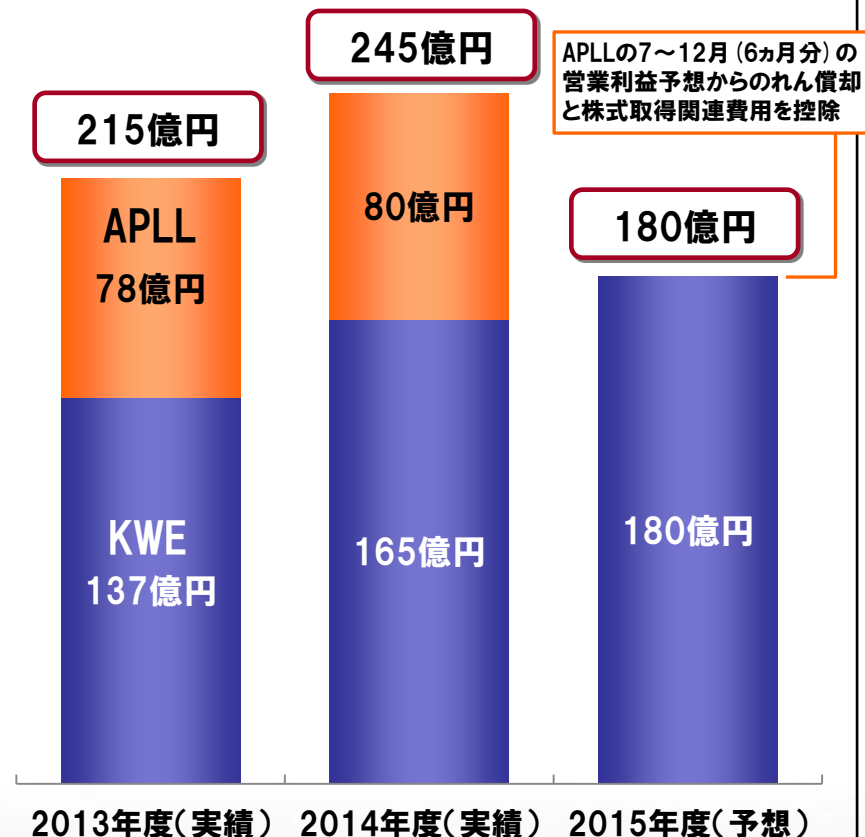
営業収入

両社実績の単純合算



営業利益

両社実績の単純合算



注) APLLの実績は各年とも1USD=120円で計算しています。

Administrations (管理・オペレーション面の整備・効率化)

◆シェアードサービス

- APLLのオペレーション機能を共同利用することやグループ内で分散している業務の集約を通じて、コストシナジーを創出することを目指す。

◆IT

- KWEとAPLLそれぞれの保有システムの機能・強みを精査し、双方の強みを活かしたシステム連携を進める。

◆人事

- 人事交流の検討・対応を行う。

Commercial Synergies (航空、海上、ロジスティクスでのビジネス拡大)

◆Air Freightの取り込み

- Auto、Industryにフォーカス、Cross Sellを進め、シナジーを創出する。

◆日本でのロジスティクス、海外での日系顧客のロジスティクスの取り込み

- APLLの持つノウハウ、ソリューションを把握・吸収し、共販体制を構築する。

◆米国-メキシコ間のクロスボーダー

- APLLのインフラ・ネットワークを活用し、販売を拡大する。

◆Sea Freightの共同仕入れ

- スケールメリットを生かし、共同仕入れによるコストシナジーを創出する。

Commercial Synergiesの実現に向けたアクションプラン (2015年7月～)

① Air Freightの取り組み

- ・APLLが外部に委託しているビジネスをKWEが取り込む。
- ・APLLが航空輸送を取り扱えていない顧客に対して、共同販売により獲得を目指す。

② Sea Freightの取り組み

- ・スケールメリットを生かし、共同仕入れによるコストシナジーを創出する。
- ・アジア発北米向けLCLサービスを段階的に統合する (KWE・APLLで同じBOXサービスへ)。

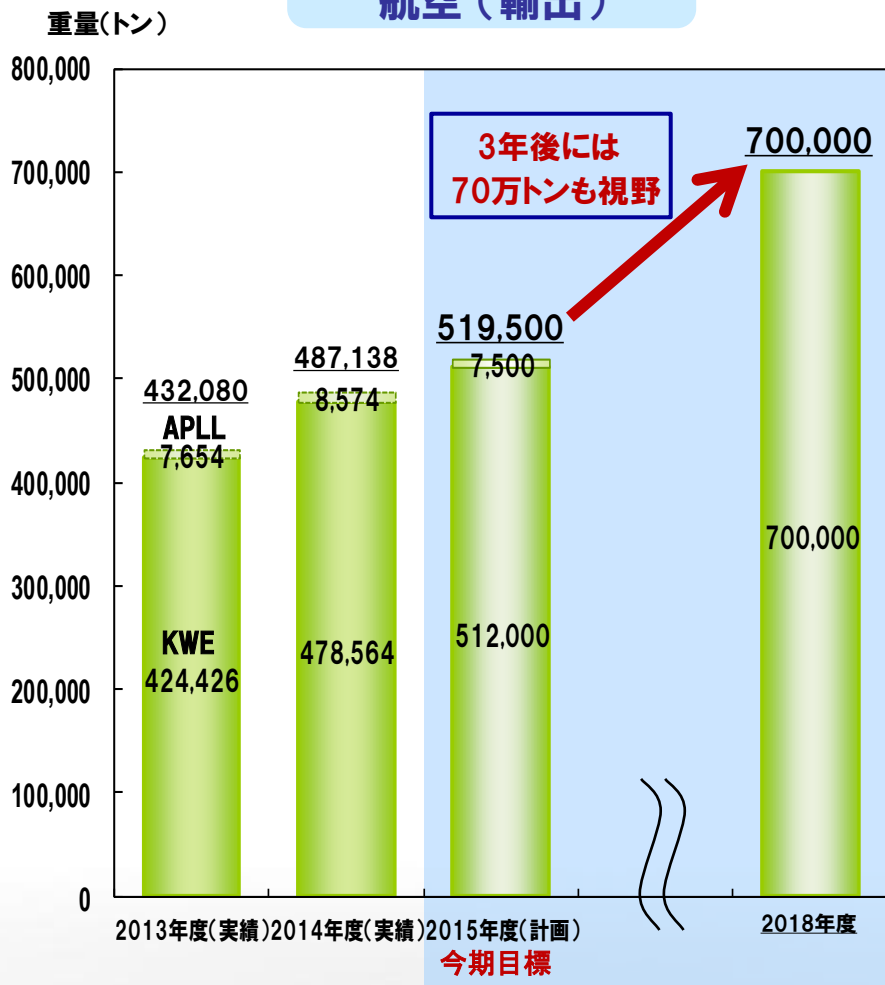
③ Auto/Retailのトレーニングプログラムの実施

- ・APLLにKWEからスタッフを送り、APLLの持つノウハウ、ソリューションを把握した上で両社にとっての新規ターゲットを設定し、営業を行う。

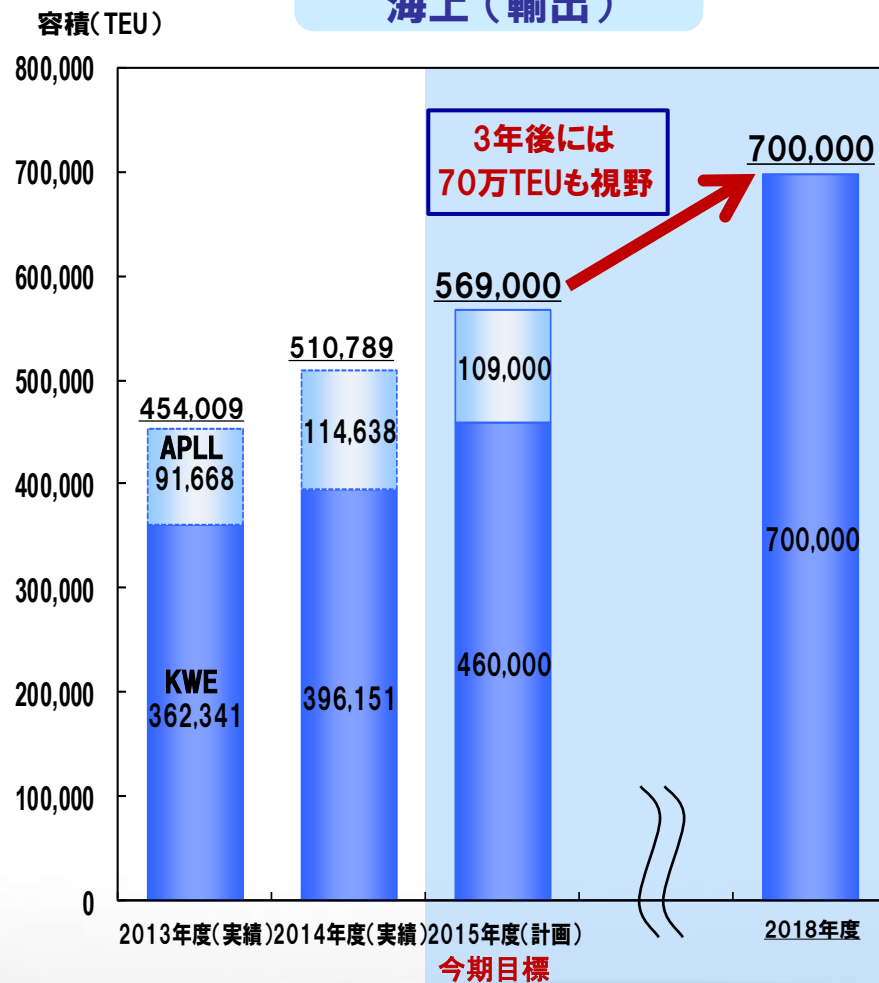
⇒ 目標の設定・数値化は両社で協議し、新中計へ盛り込む予定。

航空・海上物量の推移・目標

航空（輸出）



海上（輸出）



投資単位当たりの金額の引下げと株式の流動性向上により、
投資家層の拡大を目的とし、1株を2株に分割

■ 分割比率

1 対 2

■ 分割基準日

2015年9月30日

■ 効力発生日

2015年10月1日

配当について ①

今回の株式分割により、以下のように配当予想を修正しましたが、本年5月8日に発表しました1株当たり期末配当予想32円および合計（年間）の52円に実質的な変更はありません。

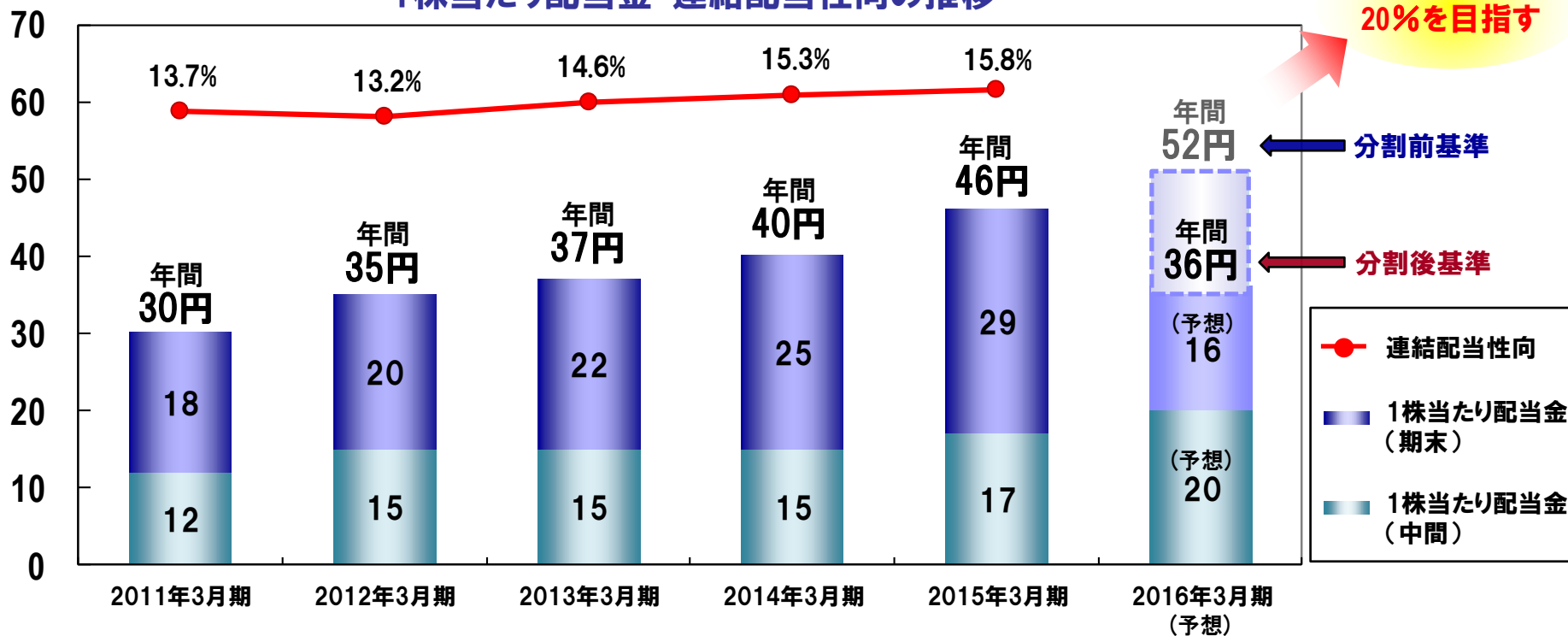
	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計（年間）
前回予想 (2015年5月8日発表)	20円	32円	52円
今回修正予想	20円	16円	—
前期実績 (2015年3月期)	17円	29円	46円

配当について ②

当社グループは、株主の皆様への利益還元の充実、将来の国内外での事業展開および経営基盤の強化等を総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続を基本に、各期の連結業績および配当性向等を考慮しながら増配に努めてまいります。

年間配当金(円)

1株当たり配当金・連結配当性向の推移



当社は、2015年10月1日を効力発生日として、1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であるため、2016年3月期(予想)の期末の1株当たり配当金については株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2016年3月期(予想)の期末配当金は32円となり、年間合計では前回予想の52円と同額になります。

さすがだね、を世界中で。



Global Logistics Partner

本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、下記までお願いいたします。

株式会社近鉄エクスプレス 総務部 IR担当 木村、高橋

TEL:03-6863-6443 FAX:03-5462-8501

ホームページ <http://www.kwe.co.jp>

※ 本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。また、将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。